

事例番号:340023

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第三部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 5 日

9:55 予定日超過、巨大児疑いで陣痛誘発のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 40 週 5 日

11:30- シノプロストン錠内服による陣痛誘発

16:00 吸湿性頸管拡張材挿入

妊娠 40 週 6 日

9:15 メロリンテル挿入

10:25 キシシシ注射液による陣痛誘発

11:25 陣痛開始

妊娠 41 週 0 日

9:15 シノプロスト注射液による陣痛促進

妊娠 41 週 1 日

時刻不明 血液検査で白血球  $17.4 \times 1000 / \mu\text{L}$ 、CRP 6.64mg/dL

10:39 分娩停止の診断で帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で臍帯炎と絨毛膜羊膜炎あり

## 5) 新生児期の経過

- (1) 在胎週数:41 週 1 日
- (2) 出生時体重:3500g 台
- (3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.25、BE -4.5mmol/L
- (4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 1 点
- (5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク、チューブ・バッグ)、胸骨圧迫、気管挿管、アドレナリン注射液投与
- (6) 診断等:  
出生当日 新生児仮死
- (7) 頭部画像所見:  
生後 8 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分:病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師:産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 2 名、研修医 2 名  
看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 4 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩開始前に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害であると考ええる。
- (2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。
- (3) 子宮内感染が脳性麻痺発症の増悪因子となった可能性は否定できない。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

- (1) 妊娠中の管理は一般的である。
- (2) 妊娠 40 週 2 日に巨大児を疑い分娩誘発を決定したことは選択肢のひとつである。

## 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 40 週 5 日に予定日超過および巨大児疑いのため吸湿性頸管拡張材、ジプロスト錠により分娩誘発を行ったことは一般的である。
- (2) 分娩誘発(吸湿性頸管拡張材、マトリントル、子宮収縮薬使用)について文書による説明と同意を得たことは一般的である。
- (3) ジプロスト錠の投与方法は一般的であるが、1 錠目の投与後 32 分から 56 分間分娩監視装置を外し、その間に 2 錠目を内服したことは基準を満たしていない。
- (4) 妊娠 40 週 6 日にマトリントル挿入後、分娩監視装置による胎児心拍数モニタリングを行い、1 時間 10 分後にオキシシ注射液の投与を開始したことは一般的である。
- (5) 子宮収縮薬(オキシシ注射液、ジプロスト注射液)の投与方法(開始時投与量、増量の間隔と量)、および投与中の分娩監視方法(連続監視)は、いずれも一般的である。
- (6) 妊娠 41 週 1 日 8 時 50 分に分娩停止と診断して帝王切開を決定したことは一般的である。
- (7) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (8) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

## 3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、胸骨圧迫、気管挿管)は一般的である。
- (2) 重症新生児仮死、胎便吸引症候群、子宮内感染症の疑いのため高次医療機関 NICU に搬送したことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

子宮収縮薬使用中の分娩監視方法は「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」の内容を遵守することが望まれる。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。